

水土里ネットおおいた

# 土地改良広報 No.319



第68回通水記念式典（4月13日 女子畑土地改良区）

## Contents

- 02 会長あいさつ
- 03 県幹部新年度あいさつ
  - ・大分県農林水産部長、農村整備計画課長、
  - ・農村基盤整備課長
- 06 常務理事就任あいさつ
- 07 トピックス
  - ・平成28年度通常総会
  - ・全国水土里ネット表彰式・通常総会
- 08 故 森田克巳氏を偲ぶ会
- 09 会議・要請活動
  - ・大分県土地改良区理事長会と大分県土地改良
  - 事業団体連合会による知事懇談会を開催
- 11 連合会・県の職員配置
- 12 水土里ネット大分 各部課所長の紹介
- 13 新入職員の紹介
- 14 「土地改良区相談窓口」のご案内  
年間行事予定表  
第40回全国土地改良大会 静岡大会のご案内

4

2017  
April



# 会長あいさつ

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経賢二

新緑の青葉が繁れる季節となりましたが、会員並びに関係者の皆様方におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本会の運営並びに農業農村整備の推進につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年度には昭和45年から続いた減反制度が廃止されます。また、戸別所得補償制度も廃止されます。稲作の割合が多い大分県農業においては非常に厳しい状況が続くこととなります。土地改良といたしまして、高収益作物を中心とした営農体系への転換のため、水田の汎用化・畑地化や区画の大規模化といった農政の課題に対応した事業の推進が我々には求められています。このような中で、土地改良関係者の果たす役割がますます重要となることに鑑み、本会として引き続き会員支援を最重点事項として取り組んで参ります。

そのためには、土地改良予算の確保が必要です。県知事との懇談会や土地改良振興大会を重ねていく中で、平成26年には県並びに各市町村のご配慮により、地元負担が大幅に軽減されました。また、平成27年には突発的な事故に迅速に対応できる支援策も県当局より示され、パイプラインのある市町村を中心に事業化を推進しているところです。我々は、このような厳しい現状を打開するため、全国土地改良事業団体連合会二階俊博会長を先頭に「闘う土地改良」の旗印のもと、昨年参議院議員選挙におきまして、進藤かねひこ議員を組織内候補として国会へ送ることができました。また、大分県土地改良区理事長会、農業農村整備事業推進協議会と連携し、国や県に対し強く予算確保の要請活動を行ってきた結果、平成29年度予算は補正を含め、平成21年度並の5,772億円に復活いたしました。しかしながら、各地域はまだ多くの課題を抱えており、それを解決するための事業予算が不足している状況にあります。事業を計画的かつ安定的に行うためには、当初予算の復活こそが必要であり、今後も予算確保の要請活動を行ってまいります。

地域を守るためには農地、農業用施設が維持されていることが必要であり、これを支える土地改良区の役割は非常に重要です。各地域で抱えている課題への対応に尽力されている会員をはじめ、関係の皆様を全力で支え、先頭に立ちこれらの課題を一つずつ解決していくことが私の責務であると認識し、この重職を全うする所存です。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。



## 尾野農林水産部長のご挨拶

大分県農林水産部長

尾野賢治

大分県農林水産部長の尾野でございます。本年度もよろしくお祈りいたします。

大分県土地改良事業団体連合会及び会員の皆様には、常日頃より農業水利施設の維持管理等にご尽力いただくとともに、本県の農業振興と活力ある地域づくりにご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く状況は、高齢化、人口減少による国内消費の縮小や経済のグローバル化の進展、特に平成30年には国による米政策の見直しにより生産調整が廃止されるなど、大きな転換期を迎えています。

今後も米の消費が減少傾向で推移する中、米政策の見直しにより価格の低下も懸念されることから、米の作付割合が42%と九州各県の中で最も高い本県においては、早急に米偏重の農業構造を変えていかなければなりません。

このため、県では、水田において排水対策や畦畔除去等により、畑地化を図り、高収益作物への転換を進めてまいります。

今年度より、畑地化に向けた農地提供者に対する県単独の集積協力金制度を新設するとともに、高収益作物の導入に向けた基盤整備に係る受益者負担の軽減措置を行ったところであります。

また、米生産を継続する場合においても、低コスト化と生産性の向上による農業競争力の強化が重要であることから、農地の集積・集約化による規模拡大や大区画化、さらには、労働時間を大幅に削減できる乾田直播栽培を全県的に展開していくこととしています。

こうした取り組みを農林水産部の総力を挙げて進めていくことにより、平成27年度に策定しました、「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」の目標数値であります農林水産業による創出額2,250億円の早期達成を図ってまいります。

中でも農業振興の礎である農業農村整備事業においては、水田農業の構造改革に向けた基盤整備に加え、農業水利施設の更新整備や県民の安心・安全の確保に向けた、ため池の改修等を着実に進めてまいります。

また、平成29年度の国の農業農村整備事業予算につきましては、土地改良事業関係の皆様のお力添えにより、概ね要望に応える予算確保ができたところであり、厚く御礼申し上げます。県としましては、引き続き、計画的な事業推進ができるよう、積極的に予算確保に取り組んでまいりますので、皆様方の一層のご支援とご協力の程、よろしくお祈り申し上げます。

最後に、大分県土地改良事業団体連合会の今後ますますのご発展と会員皆様のご活躍をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

## ●平成28年度 大分の農業・農村写真コンテスト



●題名  
棚田の牧場  
大分市  
山村 幸子さんの作品



●題名  
田植えの頃  
別府市  
阿南 伸一さんの作品



●題名  
月夜の跡田川  
中津市  
瀬戸間 博さんの作品



●題名  
一番茶の収穫  
豊後高田市  
石掛 勝彦さんの作品





## 加藤農村整備計画課長のご挨拶

大分県農林水産部農村整備計画課

課長 加藤 正明

本年4月の異動により大分県農村整備計画課長に就任しました加藤でございます。

大分県土地改良事業団体連合会及び会員の皆様には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に格別のご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

さて、農業・農村は、担い手不足や高齢化・人口減少による集落機能の低下、農業の基盤を支える農業水利施設等の老朽化による維持管理労力の増大、さらには、国の米政策の見直しなど、多くの課題に直面しています。

こうした状況を踏まえ、県においては、低コスト生産体制の確立に向けた担い手への農地集積・集約化によるほ場の大区画化や、高収益作物の導入に向けた水田の汎用化・畑地化、安定した農業用水の確保に向けた農業水利施設等の更新整備、地域防災力の強化に向けたため池・海岸堤防等の改修など、計画的な農業農村整備事業の実施により、農業の構造改革を加速化してまいります。

また、昨年度から取り組んでいます基幹的水利施設を有する畑地帯において、新規就農者や参入企業に効率的な優良農地の提供等を行い、大規模な園芸産地づくりを進める農地再編整備構想の策定につきましても、引き続き、土地改良区の皆様と密接な連携を図り、県内各地で進めてまいります。

また、大分県土地改良事業団体連合会の皆様方に大変、ご尽力を頂いております農業農村整備予算につきましては、国の平成29年度当初予算は4,020億円と対前年度比5.2%増となっており、平成28年度補正と合わせた額は、大幅削減前の平成21年度当初予算と同額の5,772億円まで復活しました。

県としましては、引き続き、国の予算規模拡大を要望するとともに、併せて本県に対する内示についても全力を上げて確保してまいります。

現在、国において真に必要な基盤整備を円滑に行うため、農業者の費用負担・同意を求めない仕組みや申請人数要件の廃止など、新たな土地改良制度の検討が行われているところです。

大分県土地改良事業団体連合会の皆様方におかれましては、こうした国の動向等を踏まえながら、引き続き、本県の農業農村整備事業の推進に向けてご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、会員皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

## ●平成28年度 大分の農業・農村写真コンテスト



●題名  
夕焼け模様の水田  
大分市  
姫野 貴文さんの作品



●題名  
井路と二連水車  
大分市  
大杉 勝通さんの作品



●題名  
両合棚田星景  
宇佐市  
深蔵 正成さんの作品



●題名  
祭りの乙女  
別府市  
牧 ツヤ子さんの作品





## 東光農村基盤整備課長のご挨拶

大分県農林水産部農村基盤整備課

課長 東光 一孝

本年度の異動により大分県農村基盤整備課長に就任しました東光でございます。

会員の皆様におかれましては、常日頃から本県の農業農村整備事業の推進に当たりまして、多大なるご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

また、昨年は、4月の熊本地震に始まり、6月の梅雨前線豪雨、9月の台風16号等多くの自然災害に見舞われ、査定総額が平成24年以来の10億円を超えた年となりました。こうした中、市町村、土地改良区と連携を図りながら、早期の復旧・復興に努めた結果、平成29年産の田植えに間に合わせる事が出来たと考えており、重ねてお礼申し上げます。

さて、本県においては、持続可能な農業を推進する上で、農業水利施設の老朽化対策が喫緊の課題となっており、特に、県下には約120kmの素掘水路トンネルが存在し、洗掘や崩落などにより、今後、維持管理負担の増加や機能低下が懸念されております。このため、農業用水路等については、現状の老朽化状況等を把握し、適切な時期に的確な工法で補修・補強工事を実施する施設の長寿命化対策や素掘水路トンネルのライニング等の整備を計画的に進めてまいります。

また、ため池については、近年、突発的な豪雨や地震等が多発していることを踏まえ、平成25年度から農業施設の一斉点検を実施しました。この点検結果を基に詳細調査を実施し、緊急度・危険度に応じた補修・改修等のハード対策とハザードマップ等のソフト対策を一体的に実施し、県民の安心・安全を確保してまいりたいと考えています。

さらには、米政策の抜本的な見直しに対応した水田の畑地化を計画的に推進するため、今年度から高収益作物の導入のために、排水対策や区画拡大等の基盤整備をモデル的に行う地区について、農家負担を軽減する事業制度を創設したところであります。

こうした取り組みを着実に実施するために必要な農業農村整備事業予算については、国予算が回復傾向となっておりますが、依然として補正に頼らざるを得ない予算構成となっております。今後とも、国の当初予算の拡大に向けて粘り強く要望を行ってまいりますので、引き続き、「水土里ネットおおいた」の皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



●題名  
御田植え  
大分市  
田中 実さんの作品



●題名  
里山暮色  
大分市  
日高 健次さんの作品



●題名  
実りの秋と  
或る列車  
宇佐市 増山 英範さんの作品



●題名  
くじゅうの  
山々を映す彦太郎堤  
大分市 永田 英男さんの作品





## 石井常務理事 就任挨拶

大分県土地改良事業団体連合会

常務理事 石井 敏

このたび、大分県土地改良事業団体連合会常務理事に就任しました石井でございます。会員並びに関係者の皆様方には、これから色々とお世話になることと思いますが、何卒よろしく願いいたします。

また、日頃より本会の運営と農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年11月、国の「農林水産業・地域の活力創造本部」において、「農業競争力強化プログラム」が決定されました。このプログラムは、農業者の経営努力によってのみでは解決できない農林水産業の構造的な問題を解決し、農業者が自由に経営できる環境を作るため、13項目の改革の方向性を示したのですが、その項目の一つに、「真に必要な基盤整備を円滑に行うための土地改良制度の見直し」が掲げられました。

その土地改良法の具体的な改正案には、「農地中間管理機構と関連した農業者の費用負担を求めずに基盤整備事業を実施できる制度」や「突発事故への対応について災害復旧事業と同一の手続きで実施できる制度」、「原則として農業者の費用負担・同意を求めずに実施できる『ため池』等の耐震化事業」など、これまで私たちが国に求めてきた内容が盛り込まれており、今後の農業農村整備事業の推進に大きく寄与することが期待されます。

2月に閣議決定された改正法律案は、現在、国会にて審議されておりますが、国は並行して新事業の詳細な制度内容・要件等の検討を進めています。会員の皆様や農家の方々にとって、十分なメリットがあり、取り組みやすい内容となるよう国の動向を注視していく必要があります。その上で、本会としても、あらゆる機会を捉えて、国の制度設計に対する意見や要望を伝えていきたいと思っております。

昨年の参議院選挙において、全国の土地改良関係者が総力を結集し、進藤かねひこ議員を土地改良の代表として国会に送り込むことができました。「戦う土地改良」のもとで、一つになった心を忘れず、これからも全国の仲間と一枚岩となって、あらゆる課題に立ち向かっていきましょう。

今後とも、これまでの経験を生かし、会員の皆様方と一丸となって農業農村整備の推進に取り組んでいく所存でございますので、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

最後に、会員並びに関係者の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

## ●平成28年度 大分の農業・農村写真コンテスト



●題名  
朝日に包まれて  
豊後大野市  
栗田 洋蔵さんの作品



●題名  
秋の白水ダム  
別府市  
後藤 正勝さんの作品



## 平成28年度通常総会

3月16日（木）土地改良会館大会議室において会員、来賓、表彰者等を含め総勢130名出席のもと大分県土地改良事業団体連合会第59回通常総会を開催した。来賓として広瀬勝貞大分県知事、金丸康夫九州農政局長、田中利明大分県議会議長、新開康成九州農政局土地改良管理課課長補佐、尾野賢治農林水産部長、石井敏農林水産部参事監兼農整備計画課長、山本一典農村基盤整備課長、堤保博工事技術管理室長、是永修治宇佐市長にご臨席いただいた。

五十川副会長（弥生土地改良区理事長）の開会あいさつの後、総会に先立ち土地改良事業に功績のあった土地改良区会員個人11名、県関係個人5名をそれぞれ表彰した。受賞者を代表して会員個人表彰の高瀬朝好出口土地改良区理事長から謝辞をいただいた。

総会では開会にあたり本会の義経会長が「減反制度の廃止や農家戸別所得補償制度の廃止など、農業政策は変革の時にきている。今後は農地の集約化、汎用化など土地改良事業が益々重要になる。そのため29年度は、土地改良事業予算の確保と会員支援の充実強化、土地改良区への公的助成制度の創設という3本柱で活力ある農業農村の実現を目指して事業を推進していく」とあいさつした。

来賓の広瀬知事、金丸農政局長、田中県議会議長、是永市長は「土地改良事業は、農業の生産基盤を整備する重要な事業である。地方創生の動向や若年従事者の確保、グローバリゼーションなどを踏まえ、それぞれの地域の課題に対応して足腰の強い農林水産業、美しい農山漁村の実現に向けて各種政策を推進していく」などと祝辞を述べた。

続いて総会の議事では、議長に安心院土地改良区の佐田則昭理事長を選任し、提案した8つの議案が全員賛成により原案どおり承認された。



前列左より岩久克彦 成迫重太 高瀬朝好 義経賢二 宮田博仁 堀誠 小川裕三  
中列左より田中三千人 工藤庄一 山本一典 石井敏 坂元珠美 松尾等  
後列左より田中頼幸 御筆寛美 甲斐功義

### 1. 個人表彰

#### (1) 土地改良区会員の部

番号	管内	氏名	所属団体名	職名	年齢	経験年数
1	高田	堀誠	藤原溜池土地改良区	理事	81歳	34年
2	国東	坂元珠美	国東町土地改良区	職員	55歳	29年
3	杵築	宮田博仁	藤原土地改良区	理事	69歳	17年
4	大分	松尾等	初瀬井路土地改良区	事務長	60歳	34年
5	佐伯	成迫重太	木立土地改良区	理事	73歳	32年
6	三重	深邊肇弘	長谷緒土地改良区	前副理事長	69歳	16年
7	竹田	工藤庄一	竹田市土地改良区	前理事	80歳	20年
8	玖珠	佐々木清和	飯田土地改良区	理事長	78歳	14年
9	日田	高瀬朝好	出口土地改良区	理事長	76歳	19年
10	中津	岩久克彦	大井手堰土地改良区	理事	77歳	21年
11	宇佐	田中三千人	安心院土地改良区	前事務局長	59歳	35年

#### (2) 県関係功労者

番号	氏名	所属団体名	職名	年齢	勤続年数
1	石井敏	農林水産部農村整備計画課	参事監兼課長	59歳	37年
2	山本一典	農林水産部農村基盤整備課	参事監兼課長	59歳	37年
3	御筆寛美	豊肥振興局農林基盤部	部長	60歳	42年
4	田中頼幸	中部振興局農林基盤部	課長補佐	60歳	37年
5	甲斐功義	東部振興局日出水利耕地事務所	課長補佐	60歳	38年

## 全国水土里ネット表彰式・通常総会

3月24日（金）、シェーンバッハ・サボー（東京都）において、全国水土里ネット表彰式（第58回全国土地改良功労者表彰、農業農村整備優良地区コンクール表彰、21世紀土地改良功労者表彰）が行われた。土地改良功労者表彰では、全国から金章38地区、銀章49地区、銅章27地区、個人表彰116名が表彰された。大分県から金章1地区、銀章1地区、銅章1地区、個人表彰3名が表彰され、会場内から受賞者へ盛大な拍手が送られた。

### 団体表彰

- 金章 真玉町土地改良区
- 銀章 仲ノ瀬土地改良区
- 銅章 呉崎干拓土地改良区

### 個人表彰(表彰時の役職)

- 岩男 立夫 氏（院内土地改良区理事長）
- 穂積 哲也 氏  
（昭和井路土地改良区事務局長）
- 長野 道範 氏  
（玖珠町土地改良区事務局長）



左から宗理事長（真玉町） 渡邊理事長（仲ノ瀬） 義経会長  
岩男理事長（院内） 穂積事務局長（昭和井路）  
内田理事長（呉崎干拓） 小川前常務

## 故 森田克巳氏を偲ぶ会

耕友会と城崎会、大分県土地改良事業団体連合会は2月16日に、平成28年1月18日にご逝去された森田克巳氏の一周忌に際し、「故 森田克巳氏を偲ぶ会」を開催した。耕友会、城崎会、土地改良区、土地連等より故人に縁のある方々130名が参集した。

はじめに、義経会長が「昨年お別れ会を開催したが、年に一度は集い、森田氏を偲ぶ機会を持ったほうがいいのかという意見が多方面から聞かれた。農業農村整備の骨格を作ってくれ、残してくれた森田前会長の意思を、本日集まった土地改良関係者が後世代へ継承して参りたい」と挨拶。続いて、ご遺族代表挨拶として妻 義子様のお手紙を、染川浩悟土地改良資料館館長に代読していただいた。

後藤晴彦耕友会会長の献杯のご発声とともに会食へ移り、森田氏との思い出話などで歓談されていた。途中、在りし日を偲ぶスピーチを榎達宇佐土地改良区前理事長、河越利勝氏、吉田忠智社会民主党党首よりいただいた。その後、河野勝経城崎会会長の閉会の辞により閉会した。



# 会議・要請活動

## ● 大分県土地改良区理事長会と大分県土地改良事業団体連合会 による知事懇談会を開催



1月11日（水）、大分県土地改良区理事長会（会長：三上忠治並石土地改良区理事長）と大分県土地改良事業団体連合会は、昨今の県農業・農村を取り巻く情勢について広瀬知事と懇談会を行った。理事長会から10名の理事長に出席をいただいた。また、連合会から義経会長はじめ事務局が出席した。

はじめに、義経会長が「平成26年度の大規模な地元負担軽減や、平成28年度の予算措置と土地改良事業にご配慮いただいていることに対してお礼申し上げる。平成21年度に土地改良予算の大幅削減があったが、平成29年度の概算決定において、ようやく復活の兆しが見えた。この間、農林水産大臣に直接陳情をいただいたことに対しても改めてお礼申し上げる。今後は、土地改良事業を通して農地中間管理機構とも連携し、担い手への農地集積を積極的に推進し、大



分県の農業農村の発展のため、農地と農業水利施設を守っていくので、今後ともよろしくお願ひいたします。」と挨拶。続いて、三上理事長会会長が「土地改良区は膨大な施設を管理維持しながら、水の安定供給、農業振興に努力している。施設の老朽化が激しく、維持管理に手間も費用も膨大にかかるが、知事をはじめ関係者のご支援で着々と進んでいる。しかし、まだまだ課題があるので、今後ともよろしくお願ひいたします。」と挨拶した。

広瀬知事は「日頃より大分県の農業振興あるいは農業基盤整備に御尽力いただき、心から感謝申し上げます。この年一度の懇談会により、現場の声を聞くことで、大臣への陳情に信憑性のある説明ができ、予算獲得によい効果となっている。」と挨拶された。

懇談会での発言要旨、知事回答は以下の通りです。

知事懇談会での発言要旨・知事回答	
農業農村整備事業の予算確保と早期着手・完了	予算をしっかり確保していきたい
多面的機能支払交付金事業の予算確保と広域化への支援	広域化の推進に努めていきたい
土地改良区への公的助成制度の創設	公的助成制度について国に訴えていきたい
ほ場整備内床版橋の危険箇所点検	相談をいただければ関係市町村と連携をはかりたい
市街化区域内の事業実施等支援	相談をいただければ関係市町村と連携をはかりたい

## ●平成28年度 土地改良役職員研修会を開催

1月19日、別府市の亀の井ホテルにおいて、新春恒例の土地改良役職員研修会を開催した。県、市町村、土地改良区の関係者約300名が出席する中、来賓として、農林水産省より農村振興局整備部設計課安部課長、大分県より尾野農林水産部長、農村整備計画課石井課長、農村基盤整備課山本課長、また大分県農業農村整備事業推進協議会より是永会長（宇佐市長）に出席いただいた。

まず、開催に当たり義経会長より「土地改良区の公的役割を多くの県民にアピールする取り組みを続けていることで、広瀬県知事をはじめとする関係者皆様のお取り計らいにより事業がやり易い環境となったが、これからも会員の皆様が現場で抱える問題を一つ一つ確実に解決していくため、土地改良予算の確保に全力で対応

していく」と挨拶。その後、是永推進協議会長、尾野農林水産部長（代理・安部審議監）より祝辞をいただいた。

講演は、「農業農村整備事業の展開方向」（安部設計課長）、「地域農業の未来」を担う後継者の育成と土地改良（一般社団法人「とまと学校」小出代表理事）、「長寿時代の健康管理」（大分県厚生連健康管理センター 谷管理栄養士）の三題でそれぞれ講演をいただいた。つづく懇親会では、進藤かねひこ参議院議員（全国水土里ネット会長会議顧問）に出席いただき、県下の土地改良関係者と親睦を深め、例年になく盛り上がりを見せ盛会裏に終了した。



## ●大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2016

1月26日、大分県多面的機能支払推進協議会は大分市のコンパルホールにて県内の関係者450名を集め「大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム」を開催した。開会に当り、同協議会会長である水土里ネット大分義経賢二会長が、「多面的機能支払交付金は法制化され、国民からも農村が持つ多面的機能が認められたと感じている。今後も地域の農地、農業用施設、農村環境保全のため、活動の充実や取組組織の拡大を目指し、事務の簡素化や広域組織の設立を推進していきたい。」と挨拶を述べた。

また、来賓挨拶大分県副知事、九州農政局農村振興部長からそれぞれ来賓祝辞が述べられた。

その後、昨年度の活動組織731組織の中から優良活動組織として選定された5活動組織の表彰が行われ、事例報告がなされた。また、引き続き行われたパネルディスカッションでは、大分県日本型直接支払検討委員長の山岸治男 日本文理大学教授をコーディネーターとし、九州農政局、大分県、熊本県山鹿市広域運営委員会、並びに由布市内広域組織、国東市、杵築市、竹田市の関係者7名をパネラーに迎え、「農業農村保全活動の継続と活動組織の広域化」という題目で地域の課題や課題解決に向けた将来像等について討論した。



### 平成28年度 優良活動組織

振興局名	市町村名	活動組織名
東部	杵築市	新庄資源保全組織
中部	大分市	松岡活動組織
豊肥	竹田市	鹿口・上鹿口農地・水保全会
西部	日田市	諸留地域資源保全組合
北部	宇佐市	岩崎農地水環境保全組合

連合会の職員配置

平成29年4月1日

部署名	職名	氏名
総務部	参与	伊藤 信二
	部長	佐藤 公紀
総務課	課長	馬場啓四郎
	課長補佐	大石慎一郎
総務係	主任	首藤 英介
経理係	主事	吉岡 桂介
会員支援課	課長	三代 透
会員支援係	副主幹	工藤 寛嗣
	主査	藤田 義昭
	技師	江田 敏寿
情報管理課	課長	秋吉 克則
	課長補佐	河野 智弘
情報管理係	主任	赤嶺 孝輔
水土里情報係	技術員	東 兵樺
事業部	部長	舞 亮止
農村整備計画課	課長	鶴成 巖
	課長補佐	伊東 哲士
企画調査係	主幹	宮尾 文康
	技師	古庄 巧
農村整備係	副主幹	岡部 真一
	副主幹 (大分県派遣)	赤峰 浩之
	主査	麻生 晶広
	技師	塗木 一樹
換地課	課長	田部 文敏
	課長補佐	大塚 景介
換地係	主査	工藤 大介
	主事	清家 大志
(北部国営対策班)	主査	佐藤 祐樹

部署名	職名	氏名
測量課	課長	河野 直樹
調査測量係	副主幹	板井 正信
	副主幹	重光 宏昌
	技術員	吉田 聖
	技術員	秋吉 大輔
中部事務所	所長	森下 健二
調査設計課	課長	佐藤 公博
調査設計係	主幹	佐々木光治
	技術員	山田 翔太
南部事務所	所長	高山 富治
	次長	宮本 良雄
調査設計課	課長	中城 英利
調査設計係	主幹	阿南 貴章
	主幹	阿南圭一郎
	主任	松本 浩一
	技術員	高山 遼大
西部事務所	所長	清末 功一
調査設計課	課長	河野 浩一
調査設計係	主査	小川 剛
	技師	西川 真
北部事務所	所長	松木 一宏
	次長	清水 寿和
調査設計課	課長	麻生 賢正
調査設計係	副主幹	梅本 隆男
	主査	安部 俊郎
	主任	増岡 樹信
	技術員	平野 祐輝

県の職員配置

平成29年4月1日、主幹級以上

部署名	職名	氏名
【農林水産部】	部長	尾野 賢治
	審議監	重盛 進
農村整備計画課	課長	加藤 正明
	農村整備計画監	安東 正浩
	参事	水ノ江 勝
	参事	河野 哲也
	課長補佐	永野 和範
	課長補佐	國家 健一
	課長補佐	本田 豊治
	主幹	大野 博子
	主幹	吉武 史弥
	主幹	安倍 崇博
	主幹	衛藤 博司
	主幹	衛藤 誠司
農村基盤整備課	部参事監兼課長	東光 一孝
	参事	野上 輝義
	課長補佐	辻野 泰弘
	課長補佐	重石 晴康
	主幹	瀬川 幸弘
大分県中央飛行場 管理事務所	所長	安部 敏成
工事技術管理室	主幹(豊後大野市より派遣)	仲村 精二
	室長	堤 保博
	室長補佐	秋好 敏美
【東京事務所】	参事	吉田 直人
【土木建築部】		
建設政策課	主幹	菅原 貴美
工事検査室	参事	小野 真一
	主幹	工藤 和
公園・生活排水課	課長補佐	高倉 義治
【東部振興局】	局長	山本 章子
	次長	渡邊 俊樹
農林基盤部	部長	後藤 弘之
	主幹(総括)	都留 俊明
	主幹(総括)	難波 悦史
日出水利耕地 事務所	所長	照山 剛
	課長補佐	榎本 孝
	課長補佐	坂元 大輔
	主幹(総括)	佐保 貴之
	主幹(総括)	後藤 正徳
	主幹(総括)	麻生 春治

部署名	職名	氏名
【中部振興局】	局長	岡田 雄
	次長	佐藤誠一郎
農林基盤部	部長	山本 文博
	課長補佐	小野 辰三
	主幹(総括)	木田 俊吉
	主幹(総括)	諫元 伸宏
	主幹(総括)	甲斐崎一成
	主幹	渡邊 敬介
【南部振興局】	局長	山本 修司
	次長	八木 勝治
農林基盤部	部長	中野 賢路
	課長補佐	田中 賢治
	課長補佐	宮成 俊治
【豊肥振興局】	局長	望月 晃
	次長	佐藤 浩志
農林基盤部	部長	小深田浩一
	課長補佐	田北 茂広
	主幹(総括)	中野 篤史
	主幹(総括)	小林 康二
	主幹	伊藤 裕司
豊後大野水利 耕地事務所	所長	後藤 貴之
	主幹(総括)	小山 長則
	主幹(総括)	工藤 政彦
	主幹(総括)	赤嶺 謙二
大野川上流開発 事業事務所	所長	羽田野圭三
	課長補佐	藤谷 信二
	課長補佐	森迫 光晴
	主幹(総括)	佐藤 広光
【西部振興局】	局長	工藤 典幸
	次長	兼子 康男
農林基盤部	部長	赤木 恵治
	課長補佐	末廣 理
	主幹(総括)	濱田 和樹
	主幹(総括)	辛島 光彦
【北部振興局】	局長	安部 欣司
	次長	利光多架視
農林基盤部	部長	黒垣 圭則
	課長補佐	穴見 文六
	課長補佐	法野裕二郎
	主幹(総括)	牧 徹
	主幹(総括)	亀井 正彦

# 水土里ネット大分 各部課所長の紹介



## ● 参与 伊藤 信二

今年度から、長年の当会への県からの業務援助（人材派遣）がなくなりました。より充実した会員支援に向け、微力ではありますが、一層の努力を傾注してまいり所存ですので今後ともよろしくお願いいたします。



## ● 総務部長 佐藤 公紀

機構改変により総務部が3課になりました。部内の統一を図るとともに関係機関と連携し、農業農村整備事業予算の確保を目指し、会員の期待に応えられるよう頑張る決意です。



## ● 事業部長 舞 亮止

農業農村の現状は、過疎化や後継者不足等深刻な状況の中、将来を見据えた農業農村整備事業の推進・災害復旧対応・減災防災対策等、会員皆様方のご要望に応えるため、事業部一体となり取り組んで参ります。



## ● 総務課長 馬場 啓四郎

総務課では、会運営や総務全般の業務に加え、総会や理事会、各種協議会といった会議を行っております。本年度は、総務課8名職員や会員皆様の期待に応えるよう努力していく所存です。



## ● 会員支援課長 三代 透

このたびの人事異動により中部事務所長から会員支援課の課長を拝命いたしました。会員支援課では会員の皆様方の要望及び各種相談に迅速、かつ的確に対応できるよう努力して参りたいと思います。又、研修会や補助事業等に関わる業務が数多くあることから、出先事務所職員と連携を図りながら会員支援に取り組んで参ります。



## ● 情報管理課長 秋吉 克則

今年度創設され、情報管理係（積算システム・電子化ほか）及び水土里情報係、水土里情報センター推進協議会の業務に取り組んでまいります。当課業務が皆様方の業務効率に繋がるよう努力して参ります。



## ● 農村整備計画課長 鶴成 厳

農村整備計画課では、農業農村整備事業全般に関する情報収集や事業推進に関する業務を行っております。一般の土地改良事業から農村地域の防災減災事業や集落排水事業、各種台帳作成等幅広い分野を取り扱っております。本業務が皆様方の一助となるよう努力してまいります。



## ● 換地課長 田部 文敏

換地課では県内の換地計画や換地処分登記に関する業務及び業務に係る情報の収集や提供などを行っております。今年度より国営対策班を設け、より一層の充実を図りながら会員及び関係各位のご要望に沿えるよう努力してまいります。



●測量課長 河野 直樹

測量課では、土地改良事業における基準点測量、用地測量、地形測量、国土調査における地積調査の業務を行っています。課員一同、技術者個人のスキルアップを図り発注者の期待に応えるよう努力してまいります。



●中部事務所長 森下 健二

中部事務所は、大分市、由布市、臼杵市、津久見市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。総勢5名と少数ですが、事務局関係課と連携を図りながら県・市・土地改良区の皆様方のご要望に沿えるよう所員一同努力して参ります。



●南部事務所長 高山 富治

南部事務所では、佐伯市、豊後大野市、竹田市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。総勢9名で前述の業務に加え会員支援並びに事業推進を図り、会員の皆様方に満足いただけるよう努力してまいりたいと思います。



●西部事務所長 清末 功一

西部事務所は、総勢5名体制で、県西部振興局管内の日田市、玖珠町、九重町と土地改良区を対象とする農業農村整備事業の調査計画・測量・設計業務を行っています。本年度も会員支援並びに事業推進に向け努力し、皆様のご要望に沿えますように努力して参りたいと思います。よろしくお願いたします。



●北部事務所長 松木 一宏

北部事務所では、中津市、宇佐市、豊後高田市、国東市、杵築市、日出町、別府市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。県、市町村、土地改良区皆様のご要望に応えるべく北部事務所職員9名、一丸となり一生懸命頑張ります。

## 平成29年度新規採用職員の紹介



農村整備計画課 農村整備係  
ぬるき かずき  
塗木 一輝

この度、新規採用され事業部、農村整備計画課に配属されました。臼杵市出身で、幼い頃から自然と触れ合いながら育ってきました。大学では、経営経済学を専攻しており、農業土木の分野は未経験ですが、先輩方の力を借りながら技術、知識を学び、一日でも早く皆様のお役に立てるよう、日々努力して参ります。よろしくお願致します。



測量課 調査測量係  
あきよし たいすけ  
秋吉 大輔

この度、中津東高校土木科を卒業して、事業部測量課に配属されました。中津東高校では3年間野球部に所属していました。これから、測量についてしっかり勉強し、先輩方からいろんな事を現場で学び一日でも早く水土里ネットに貢献出来るよう頑張っていきますので宜しくお願い致します。



南部事務所 調査設計課  
たかやま りょうた  
高山 遼大

この度、新規採用され本年度から南部事務所調査設計課に配属されました。出身校は佐伯豊南高校で、高校では三年間野球部に所属しておりました。これから高校野球で身につけた礼儀や挨拶をしっかりと、先輩方からいろいろなことを学び一日でも早く皆様のお役に立てるよう、努力して参ります。よろしくお願致します。

## 「土地改良区相談窓口」のご案内



農村地域の高齢化・混住化の進行等によって土地改良区を取り巻く諸問題は複雑化・高度化の度合いを増しつつあり、役員・職員の皆さんには専門的な対応も求められてきています。

このようなことから、水土里ネット大分では皆さんの抱える様々な問題を県とも連携して早期に解決させるため、従来から行ってきた相談業務をさらに強化し、弁護士も活用可能な「相談窓口」として充実させることとしておりますので是非ご利用ください。

### ＜主な相談内容＞

- ◎土地改良区の運営に関すること
- ◎賦課金滞納処分に関すること
- ◎その他法律が絡む問題等
- ※土地改良事業（改修・補修工事等）の計画・実施に関することは、これまでどおり事務所にご相談ください

**相談日**：随時受け付けます

**弁護士**：県土連の顧問弁護士

**相談窓口**：会員支援課（土地改良会館2階）

TEL 097-536-6631

FAX 097-536-6080

## 土地改良区関係年間行事予定

行事	開催日	曜日	場所
7月 九州協議会九州農政局合同要請	7/13	木	熊本市
九州協議会農水省合同要請	7/27	木	東京都
8月 農業土木技術研修会	下旬		土地連
第5回土地改良振興大会	8/30	水	ホルトホール大分
10月 全国土地改良大会（静岡県）	10/25	水	沼津市
1月 土地改良区理事長会県知事との懇談会	1/12	金	知事室
土地改良役職員研修会	1/18	木	別府亀の井ホテル
2月 第60回通常総会提出議案ブロック説明会	下旬～		各ブロック
3月 第60回通常総会	3/15	木	土地連
第59回全土連通常総会、土地改良功労者表彰式	下旬		東京都



## 第40回全国土地改良大会 静岡大会

平成29年10月25日(水)

会場：ふじのくに千本松フォーラム プラザ ヴェルデ | 沼津市

参加者募集は、6月下旬に行います。

担当 総務課まで



### 水土里ネット大分



### 大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号  
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局4F）  
TEL097-536-6631 FAX097-533-8955
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3  
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2  
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2  
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419

